

# 2021 保護者アンケート ご意見やご感想への回答について

本校の学校教育に関しまして、様々なご意見やご感想をいただきました。ありがとうございます。本誌に掲載してあるものは全体にかかわるものが中心です。厳しいご意見もございましたが、真摯に受け止め、今後の西当別小学校の教育に役立てていきたいと思っております。

- ★西当別小学校における小中一貫教育とは？
- ★小中一貫については現実味がない など

## 1. 小中一貫教育について

小中一貫教育は、「小学校で行われている教育」と「中学校で行われている教育」の課程を調整し、一貫性を持たせた教育の仕組みのことを言います。当別町では、当別の歴史・文化・自然・産業・科学などについて学ぶことを通じ、ふるさと当別を知り、当別の未来について考え、国際感覚を身に付け、自分の人生をデザインする力や様々な方法で発信する力を育てていけるよう「とうべつ未来学」を設定し、町内4校で今年度から取り組んでいます。

当別では小中一貫校（一体型義務教育学校）が設立されますが、西当別では分離型小中一貫校として取り組みを行っています。例えば、中学校教諭が小学校にきて授業を行う「乗り入れ授業」の実施、6年生の中学校への1日体験入学や部活動体験、中学校長や教頭がきて6年生へ中学校の進学に向けた説明会を行うなど、小学6年生から中学1年生へスムーズな接続になるよう様々な取り組みがあります。8月には小中合同道徳として、Meetをつかった講演会や、いじめ撲滅宣言の取り組みを行いました。

また子どもたちだけではなく、小中合同で行われる教員の研修会や、毎月実施している小中管理職会議など、教員同士でも細かな連携を行っています。

以上の取り組みについては、ホームページや学校だよりで紹介していますので、ぜひご覧ください。



- ★体験できず見学だけだった為、不十分と回答しました など

## 2. 外国語活動・英語活動【国際理解教育】について

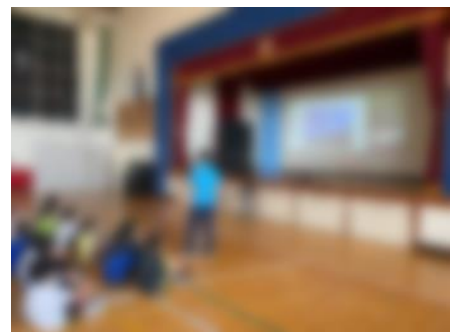
今年度より、「とうべつ未来学」として設定された活動ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、体験等の取り組みができないところもあります。今年度は、5学年で「スウェーデン交流センターの見学」、6学年で「JICA 出前講座」を実施いたしました。コロナ禍の今後の情勢を見ながら、できる取り組みは実施していく予定です。

ご理解とご協力をお願いいたします。

- ★コロナ禍で交流するのが難しかった
- ★体験先と連携してリモートで体験してみるのはいかがでしょうか など

## 3. 地域の特色を生かした教育活動

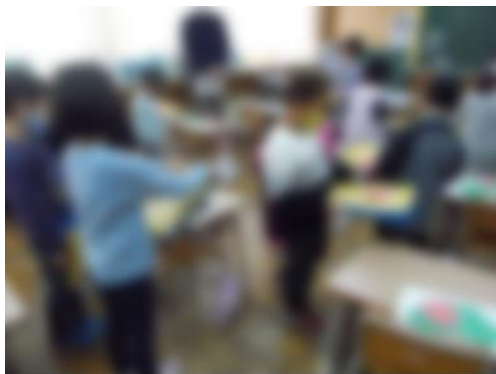
コロナ禍の影響もあり、子どもたちの安心・安全を第一に行ってきたため、交流を行うことができませんでした。ただ、GIGAスクール構想により、インターネット回線も強化されていますので、ご意見にもありましたが、オンラインをうまく使いながら、交流をすすめていければと思っております。今年度は、5年生において道民の森と接続して学習を深めることができました。体験先と検討をしながら、できることに取り組んでいきたいと思っております。



- ★主体的対話的な教育活動が、なぜ自分から学習をするようになるのかが分かりません
- ★家庭学習や宿題はやるけど、やらなきゃならないからやるという感じが強い など

#### 4. 進んで学習に取りくむことについて

文部科学省の新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」という言葉があり、学ぶことに興味や関心を持ち、見通しをもってねばり強く取り組むことで、自分の学習を振り返り次につなげることで文部科学省は定義しています。本校の全国学力・学習状況調査の児童質問紙でも、授業に「対話」を取り入れることで、「楽しい」「よくわかる」と回答している子が多く、全国を上回っています。



また、家庭学習や宿題に関することでは、小学校の段階では、自分から進んで取り組むようになるためには学校での学習はもちろんのこと、家庭での学習の訓練も必要となります。

宿題や家庭学習に取り組むことで、学校で学んだことを定着させ、次の授業へ活かすことができます。「勉強がわかる」ことは子どもたちの学習意欲の一番の元です。また、中学生になったら自分で学習の計画を立て、受験に向けて勉強に取り組まなければなりません。宿題や家庭学習を通して勉強の仕方や、課題に対する取り組み方などを訓練しています。自分で考えて行動

していく力を身に着けていくためのものであると考えています。

そのため、今はやらなければならないと思いながら取り組んでいるかもしれません。それは練習であり、身につけていく途中であると考えています。学校でも指導いたしますが、ご家庭でもぜひ子どもたちを励ましていただければと思います。よろしくお願いいたします。

- ★補助の先生がいる時に質問しやすく声をかけていただけるとありがたいです など

#### 5. 基礎的・基本的な学力について

本校では、授業の内容がわからないまま進まないように、少人数指導を活用したり、学習支援員を配置しながら学習のフォローをしています。全国学力・学習状況調査でも、正答率が少ない児童の割合が全国よりとても少ないという結果が出ており、本校の活動がうまく機能していると思っています。困っている児童に対してできるだけ声をかけるようにしていますが、わからなかったら手を上げたり、声を上げたりするようにとお子さんにお話ししていただくともっと多くの子にフォローができるので助かります。ご協力をよろしくお願いいたします。

- ★我が子が本を読んでいるところを見たことがない
- ★本は自主的に読んでほしいですが、現在は親が勧めて読んでいます など

#### 6. 読書活動の推進について

本校では、朝読書の取り組みや長期休みの本の貸し出し、読書週間における本の紹介、外部人材や教員による読み聞かせなど、様々な読書活動に取り組んでいます。PTA活動としても、学校活動部が図書室の整理整頓や各種イベントを行っており、子どもたちが本に触れやすい環境を整えています。読書に取り組みが全国学力・学習状況調査の良い結果にもつながっています。

なかなか家庭での読書の習慣はつきにくいと思いますが、読書と学力の関係性は高いと言われていますので、ぜひご協力をお願いいたします。



- ★挨拶については最近近所で子どもとすれちがってもあまりされなくなった
- ★あいさつはできていないと思います など

## 7. あいさつの指導を中心に、豊かな心の育成について

校内では、どの子もよくあいさつができています。学校に来る外部の方に対してもよくあいさつができており、いつも褒められています。子どもたちには、いつでも、どこでも、誰にでもしっかりあいさつができるように指導していますが、校外ではなかなか難しいのかもしれませんが。学校でも指導いたしますが、ご家庭でも一声かけていただくと助かります。よろしくお願いいたします。

- ★事後報告ではなく、適切な事実確認のもと判断してください。と切に願います
- ★何かトラブルがあった際、子どもからだけではなく、先生からも経緯やその後の対応等の報告をいただきたい など

## 8. 問題行動やいじめ・不登校に関して、早期発見・早期解決について

いじめや不登校の問題に関しては、日々の子どもの様子の変化をみとったり、支援の必要な子に対してサポートを実施したりと情報共有を行いながら全教職員で対応をしています。トラブル等があった際には早期の段階で聞き取りや指導を行い、保護者に対応等を報告しています。安心・安全な学校生活を送れるようにできるだけ多くの目で子どもたちの様子を見るように努めておりますが、見逃してしまうこともありますので、情報等がありましたら連絡いただくと助かります。ご協力をお願いいたします。

- ★昼休み中休みに体育館等でみんなでできる遊びを増やして頂けたらと思います
- ★学校を休んでいるせいか、外に出る機会も少なくなり体力も落ちているように感じている

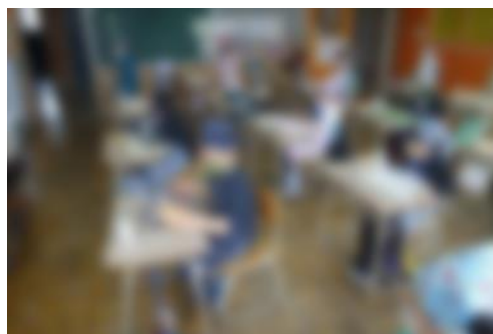
## 9. 縄跳びを中心に体力の向上の取り組みについて

運動会でもご覧になられたかと思いますが、コロナ禍のために集団での遊びや運動ができず、個人で行う運動を中心に取り組んできました。体力の低下については本校でも感じており、短縄とびの奨励や、体育で体力づくりのメニューを組み入れるなど工夫をしながら、運動する機会を増やしているところです。中学校では部活動等の集団スポーツも行っていますが、感染症対策を行いながら運動や活動をすることは、内容によっては小学生にはまだ難しいと考えています。新型コロナウイルスの状況を判断しながら、安全にできるところからはじめていきたいと考えています。

- ★好き嫌いがあり、嫌いな物は、積極的に食べれていない
- ★完食というプレッシャーで嫌いな物を無理に食べなきゃという思いでいる子もいます
- ★家に帰ってくると、すぐチューブを見たりして外で遊ぶことがほとんどありません

## 10. 自分で好き嫌いをなく食べたり、早寝・早起きをしたりすることについて

本校では、食育や生活習慣の向上に取り組んでいるところですが、給食についてはできるだけ好き嫌いをなく、一口でよいので食べるように指導をしています。完食については、子どもたちが話し合いをして学級の目標として決めているところもあるようです。その際にも、食べる量は個々人で違いますので、自分に合った量に減らして、取った分はできるだけ完食をするようにと指導しています。現在は、コロナ禍により楽しく会食とはいきませんが、食事が楽しいものになるよう、工夫をしていきたいと思っております。



また、生活習慣については長期休みを利用して、自分の生活を見直して目標を設定して取り組んでいます。また高学年では、家庭科の学習で生活習慣を見直すことを学んでいます。生活習慣については、どうしてもご家庭の協力を得ながらの実施となっております。お忙しいところ恐縮ですが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

★集団下校など学校はしている。子供がまだ注意できていないので不十分にした など

## 11. 自分から安全に気をつけて行動することについて



本校では、「自分の命は自分で守る」ことを指導しています。そのためには、常に安全を意識して、危険な場所へは近づかないようにしたり、危険を予測したりすることが大切です。避難訓練や各種安全指導では、必ず子どもたちと振り返りを行い、避難の仕方や安全な行動について定着を図っています。

また、「生命について考える日」を設定し、全校道徳を実施しています。現在はコロナ禍のため、全員が集ま度は全校放送で実施いたしました。

今後も、子どもたちが毎日安心して登校できる学校を目指し、地域・保護者・学校が一体となって取り組んでいきたいと思っています。

## ■そのほかのご意見等について

★今回のアンケートの内容について、学校自体の取り組みの説明が全くないので回答のしようがないです

本来であれば、学校経営について4月の全校参観日にて学校長より説明を行うところですが、コロナ禍により、実施できませんでした。学校だよりやホームページで取り組みが紹介されていますので、ぜひそちらをご覧ください。

★学校では出来ているが家では出来ていないことが多い

あいさつや生活習慣など、いつでも、どこでもできるようにと子どもたちには指導しています。ご家庭では気も抜けてしまうことがあると思いますが、ぜひ一声かけていただけるとありがたいです。

★学年、先生によってクラスだよりの頻度が違う。それはなぜなのか疑問です。

学級だよりについては何号出さなければならないという規定等はありません。本校は、1学級の学年も多く、毎週学年だよりを出しているため、それを兼ねていますのでご了承ください。

★アンケートの作りが、わかりづらい

今年度は安心・安全メールによるアンケートを初めて実施いたしました。ご協力、ありがとうございました。安心・安全メールの制約もあり、見づらいものになってしまいましたが、次年度以降もメールによるアンケートを実施していきたいと思っています。ご容赦ください。